

2014年(H26年)

6月

No. 275

ひとはつうしん

(ホームページアドレス) <http://hitoha-fukushi.com>
(メールアドレス) hitoha@lime.ocn.ne.jp



社会福祉法人 ひとは福社会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

新しい年度が始まって2ヶ月がたちました。ひとはの1年は早いのですが、今年もあ、という間だろうなと感じています。それだけ充実しているということかもしれませんが、もう1年経つたなあと感じるエピソードをご紹介します。

昨年5月頃、ひとは農園で活躍していたAさんが、高齢化に伴う認知症の発症で少しずつ体調を崩しはじめ、家庭で寝たきりの状態にまでなっていました。正直なところ、ご家族の方も、ひとはのスタッフも「もうだめかもしれない」と思っていました。しかし、ひとは農園の仲間やスタッフは「今までのAさんに戻してもらいたい」と、日替わりでお見舞いに行き、声をかけ続けました。すると寝たきりから起きられるように、車椅子での通所の再開までが出来るようになっていきました。

通所再開後は、ひとは農園で復帰祝いを、Aさんの大好きなカラオケを交えて行いました。その中で、昨年5月以降全く立てなかったAさんが立ち上がり「みんな、ありがとう!」と涙ながらにお礼を言われたそうです。

その後、ご家族の体調面もあり、ホームへ入所されます。昔から人気者だったAさんは、ホームでも日中活動でも声をかけられ、どんどんと回復していきました。起き上がることも、食べることもままならない状態まで落ち込んでいたAさんが、今では自分で食べ、少しの時間であれば、支えはいるものの、立て歩けるまでに回復することが出来ました。

自分の居場所がここにあると感じられること、それを感じてもらえるような空間を作った仲間やスタッフとても大切なことだと、改めて思いました。

私達は活動や作業を行っていく中で、それぞれの個人の役立ち感、達成感、やりがいを感じてもらえるような活動を創っていくことを第一に考えています。

「あなたがあってくれたよから」「わしがおらんといひとははつうしん」お互いに本当にそう思えるような活動を創れるよう、これからも仲間との活動を通じて創、ていきたいと思っています。(ひとは工房 所長 城崎 高治)

「ひとは長屋」スタートしました!

これまで「ケアホームながた」として、的場邸の4名が地域のグループホームの中で生活されていましたが、それに加え今年の5月から新たなグループホームが出来上がり「ひとは長屋」と名前が新しくなりました。新しいグループホーム(西本邸)は、これまで知的に障害を持った方が平屋建てに1人で暮らしていましたが、改修して最大で4名が生活できるようになりました。西本邸での生活が始まって1ヶ月近く経ち、今までの生活スタイルと違うため難しいこともあるようですが、みんな協力して支え合いながら日々を過ごしています。(ひとは長屋 高木 亮輔)

6月行事予定 ☆☆☆☆☆

☆⑤...ささき吉

12(木) アロマオイル・香水教室 (参加費 1,000円)⑤

21(土) 安芸高田交流キャンプ

22(日) ふれあい交流会

25(水) トールポイント教室 (参加費 500円)⑤
(七夕にちなんだモロくり)

28(土) アロマオイル・香水教室 (参加費 1,000円)⑤

29(日) 第3回 ひとは館 マルシェ

10月12日(日) 10月12日の日曜日

たいちやうかりやう せす ふくじしやさん
体調不良でお休みし、翌日出勤すると



「元気になったあ?」「風邪だったん?」

* と必ずお声をかけてもらいます。そんな中でも

「す、ごく心配しとったんよー大丈夫?」と一人のきららの人。



「え、そんなに心配してくれとったん?」と私。

「そりゃ そうよねえー。ななかまじやろ。家族じやろ。家族の心配する

のは当たり前じやろ。」と強い口調で。

* その方の思い、気持ちまで私に伝わってくるものがありました。

ああ、私はこんな温かい大家族の中に居るんだなあと何だか

嬉しくなりました。



(事務 築城 暁子)

ひとはのママ



ここ数ヶ月の間、ホームの支援に入る回数が月に3回程度と激減

* し、非常に気が悪い。スタッフの皆さんには夕大なご迷惑をおかけ

しております。内閣の支持率は下落傾向ですが、私も負けてないですね?

* そういった中ですが、本業(車屋さん)でホーム作業所に行く事が



あります。その時には決まて近づいて来てくれる仲間の方がいます。

* 「チクーン!!」と言いつながら、今日も来てくれたと思うと少し「ホッ」と

します。

* そんなRさんからの支持率だけでも下げない様頑張らねば!!



(ホーム 幸川 理)



新 4月からかすみそうで

お世話になっております

高田 和美 です。毎日

仲間の方の元気に負け

ないように笑顔で頑張

っています。

慣れた仕事も多いですが、

元気いっぱい笑顔で

頑張るのでよろしく

お願いします。

新 石川 さおり 29才です。

4月からあぷに、通、て

います。

食品製造でラベルの

をけり、納品準備

をけり、いろんな仕事

をがんばっています。

よろしくお願ひします。

3月に、北特別支援

学校を卒業して、アグリ

サポートひとほに入、た、

中森 優一 です。

マイペースで仕事をがんば

ってやっています。きららの

みなさんとたくさんお話を

聞いています。よろしくお

ねがひします。

好きなことは、地図を

見てお店屋さんをさがす

ことです。

いつもお客様との出来事を書いているのですが、今回は

カウンター内でのちょっと笑えるお話を書こうと思ひます。

先月車のドアに詰めた私の指の青あざも順調に黒ずんできた頃...

私の指は、寡黙な食器洗い名人の高森春菜さんの目に留まり

ました。

ニヤリと笑うなり、私の指をゴシゴシ洗うのです。その日から、取れない

汚れ(黒ずんだアザ)との勝負が始まりました。

お皿を洗って指、お茶碗を洗って指、箸を洗って指、定期的に

私の指を洗ってくれるのです。私の指がツルツルになる頃、「汚れ

取れないね」と一言。忙しさに追われることもなく、汚れが思うように

取れなくてもイラッとすることもなく「取れないね...」の一言に思わず、私の

心はほろりしました。見るたびに「恐怖心」「痛み」を思い出していた

傷も、高森さんのおかげで、今では思い出し笑いをしてしまうようになりました。

そして、私の指は来る日も来る日も洗ってもらったおかげで、ツルツルも

通り越して、カサカサになるのでした。

今では、ヒビケアを塗るときも思わず微笑んでしまいます。

「汚れではなく、痛みを取ろう」としてくれたのかなあと...

十
十
十
十
十
十
十
十
十
十

